

日本共産党中野区議会議員 **あなたの声を、区政に活かす**
羽鳥だいすけの区政報告 2017年8月号

No. 16

はばたき通信

●メールアドレス
hatoridaisuke89@yahoo.co.jp
●自宅
TEL/FAX:03-6677-7404
●区議団控室
TEL:03-3228-8873
FAX:03-3389-8657
●ホームページ
羽鳥だいすけ WEB検索

ツイッター、フェイスブックもやっています!



第2回
定例会報告

6月1日から6月15日の日程で第2回定例会が行われました。その中身をご報告します。

1 核兵器禁止条約が世界122カ国の賛成で歴史的な採択 核兵器のない平和で公正な世界の実現のために中野区も力を尽くせ!

歴史的な条約採択

7月7日、国連加盟国の63%にあたる122カ国が賛成し、歴史上はじめて核兵器を違法とする国際条約が採択されました。この条約は核兵器の非人道性を告発し、核兵器を法的に禁止するためのあらゆる中身を取り込み、「核兵器による平和=核抑止力論」も否定している極めて重要なものです。しかし日本政府は条約について「署名することはない」と拒否しています。

中野区が核廃絶の先頭に立て

区長の姿勢も問われています。中野区は「憲法擁護・非核都市宣言」を行っている自治体ですが、この間「外交は国の問題」と答弁しない態度を取ってきました。条約採択を目前

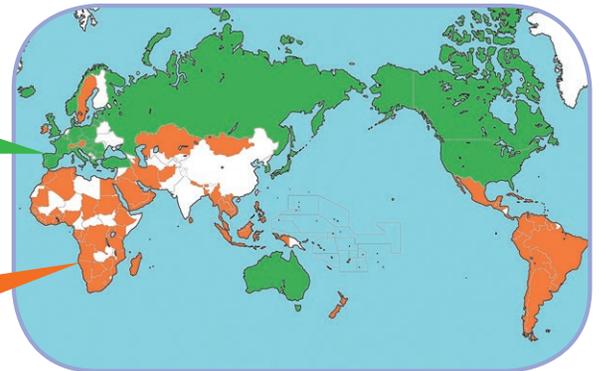
にして今回改めて条約への見解を質問。区長は「条約の成立は非保有国と保有国の対立を決定的なものにする」と日本政府の立場を代弁する答弁をしました。こんな態度では「核なき世界」は実現できません。



区役所前の「憲法擁護・非核都市」宣言塔

核兵器禁止条約の交渉開始に反対した国 35カ国

核兵器禁止条約に賛成した国 122カ国



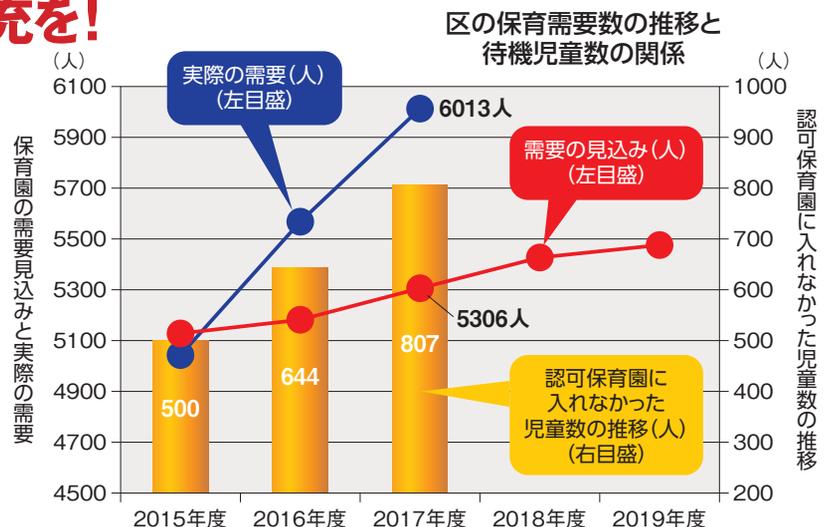
核兵器禁止条約をめぐる世界の状況

2 認可保育園の待機児童は807人 昨年比163人増

区立保育園増設と、職員体制の拡充を!

2017年4月現在での待機児童数が公表されました。認可保育園に申し込みながら入園できなかった児童は807人、中野区が「待機児童数」として公式に発表している児童数は375人(昨年比118人増)といずれも大幅に増加しました。

しかし待機児童対策を行う部署には職員が6人しかいません。用地の確保など待機児童を本当になくするためには職員体制を改善することが必要です。また民間誘致に頼るだけでなく、中野区自ら保育園を設置することが必要です。



3 「教育勅語の教材使用」明確に否定せず

安倍政権は戦前の日本の教育に天皇絶対の思想を植え付け「教育勅語」を教材使用できる見解を示し

ました。その際、使用の可否は各教育委員会に委ねられるとしました。憲法と教育基本法にも反する「教育勅語」

の教材使用は許されません。しかし区は「校長が検討するもの」と使用を明確に否定しませんでした。



教育勅語

4 U18プラザをなくさないで ——共産党が廃止条例に反対討論

中野区はこれまで、小学校でのキッズプラザ開設とU18プラザの整備に合わせて、児童館を廃止するという方針を取ってきました。しかし昨年、「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」の中で、児童館廃止方針はそのままに、U18プラザを全廃する方針が突如示されました。中野区から子どもたちが気軽に集える学校外の施設がなくなってしまうこととなります。第2回定例会には今年度末でU18プラザ

を廃止する条例が提出され、日本共産党は討論を行い反対しましたが、自民・公明・都民ファーストらの賛成により可決されてしまいました。

乳幼児から 中高生まで利用

区は「(U18プラザが)機能を果たしていないから廃止する」と言いますが、利用の実態を調べればU18プラザは乳幼児親子が集う場所であり、小



U18プラザ

学生が遊ぶ場にもなっており、中高生も学習場所などで活用するなど、仲間づくりや世代間交流の拠点になっていることは明らかです。廃止は許せません。



日々の活動 道路側溝の補修が行われました

普段、お寄せいただく生活相談の中には道路関係のものも多くあります。道が区道の場合は中野区に、都道の場合は東京都に要請を行います。修繕すべき道路は多数あるため、調査の上で実際に工事されるかが決まります。今回は上鷲宮の方から「道路の側溝に段差があるため、雨水が排水されなくて困っている」との相談が寄せられ、道路が直りました。



補修された道路側溝

私道助成制度が変わりました

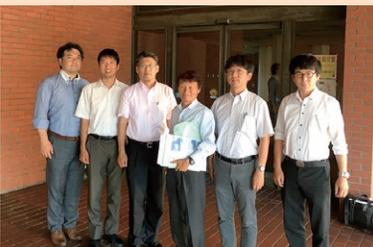
3月の区議会に私道助成制度の一部改定が報告されました。これまで共有者全員の承諾が必要だったものが、所有者不明などやむを得ない場合、助成の対象となるよう改定。詳しくは中野区ホームページをご覧ください。

ユニバーサルデザイン推進条例についての学習会および兵庫県相生市・岡山県倉敷市への視察を行いました

労働政策研究研修機構の内藤忍さんを講師にユニバーサルデザイン推進条例について学ぶとともに、相生市では定住促進から子育て支援までの切れ目のない子ども施策について、倉敷市では先進的な介護予防日常生活支援総合事業の取り組みについて学びました。



学習会



学習会&視察に参加した区議団

第2回定例会日誌

- ① 6月1日/本会議 長沢議員が平和の森公園の問題で質問。公園目的の変更には事前に都との協議が必要としているが、区はその前に工事契約。区は「これから協定を結び直す」と手続きの瑕疵については答弁せず。
- ② 6月2日/本会議 広川議員が給食無償化を求めて質問。無償化が45自治体に広がっていることを明らかにし、食育の一貫として実施を求めたが、区は冷たく拒否。
- ③ 6月7日/区民委員会 いわゆる「ごみ屋敷条例」が可決。党区議団は対処療法ではなく、専門家の知恵を借りるなどして、発生原因そのものを解決するよう努力することを求めたうえで賛成。
- ④ 6月15日/本会議 党区議団は「国民健康保険料の負担軽減等を求める意見書案」を提出。高すぎる国保料引き下げのため東京都が対策を取ることを求めたが、自民・公明・民進・都民ファーストらにより否決。

委員会が変わりました

任期が2年経ったため、所属委員会が変わりました。後期は総務委員会になります。予算や基本計画、人事などを扱います。

相談・ご意見お待ちしております



生活のこと、地域のこと、
なんでもご相談ください

「はばたき通信」へのご意見お待ちしております。

議員団控室 / 電話 : 3228-8873
FAX : 3389-8657
携帯電話 : 090-4607-7889

羽鳥だいすけの 日々雑感

生きているからこそその時間だと

この漫画は事故によって亡くなり幽霊になった女子高生が、遺された家族が前を向いて生きていけるよう行動するお話です。幽霊になっても“意識”があるとしたら、「これをしておくべきだった」と後悔も強くなってしまいそうです。現実はこの漫画で紹介されているようにはなりません。後悔せぬように生きようと思います。

★このコラムでは、地域のこと、私のことなど、雑多な中身をご紹介していきたいと思っています。



清家雪子
『まじめな時間』